

新宮山彦ぐるーぷ第2336回

大日岳の行場に通行禁止看板設置など

◇実施日 11月20日(水) 雨のち曇り

◇参加者 梶野照雄 1名

10月28日に植平さんからメールで「大日岳のクサリが切れ、27日に現地調査して、切れたクサリを回収。残った上のクサリは山頂に上げました。」と連絡があった。いつか切れるだろうとは思っていたが、釈迦如来像の100年目と同じ年に切れたのは偶然だろうか。



案内は外れていた

木ネジで固定

通行禁止も取り付け

11月4日の笹刈の際、太尾登山口に注意喚起の案内を取り付けたが、その後ネットの写真を見ると案内が取れてしまっていた。また、

山頂に引き上げたはずのクサリが垂らされ、怖いながらも登り切ったとする投稿が複数見られた。勤労感謝の日の連休を控え、釈迦ヶ岳に登る人も増えるし、大日岳を目指す人もいるだろう。このまま放置しておくとき大きな事故も起きかねないので、注意喚起よりも強い“通行禁止”の看板を取り付けることにした。同時に大日岳行場のロープやチェーンをまとめて、岩場から見えないようにすること。上部のクサリを引き上げることを主目的とした。午前9時前に登山口に着く。車は2台停まっていた。ラミネートした注意喚起の紙は登山届の箱に差し込まれていた。木ネジで再び取り付け。通行禁止の看板も取り付けた。



大日岳迄は笹がすごい



チェーンを纏める



クサリは伸びている

古田の森の手前で降りてきた青年と出会い、大日岳行場の話をする。この青年はインスタグラムもやっているそうで、インスタにも書いて、友人にも伝えておきます。と言ってくれた。

今日はすることが多いので、歩きながらパンを少しずつ食べて、昼食休憩は無しにした。

深仙宿で避難小屋をチェックし、大日岳に向かった。途中の奥駈道は笹が伸びて両側から登山道を覆っている。明け方の雨で濡れているので、膝から下はずぶ濡れ。靴の中に水が溜まりだした。

行場の入口に着き、先にチェーンとロープを処理した。う回路から下ってパイプを打ち込んでトラロープを渡し、通行禁止の看板も取り付けた。荷物を担いだままで山頂に向かう。背負子は肩の上に突起が2本あるので、あちこちに引っかかる。頭が通ったので大丈夫と思ったら突然進めなくなるがあるので注意が必要だ。

山頂に着いてクサリの引き上げを試みたが、一番下が岩の隙間に挟まっているようで、何度引いても上げることができなかった。



通行禁止を取り付け

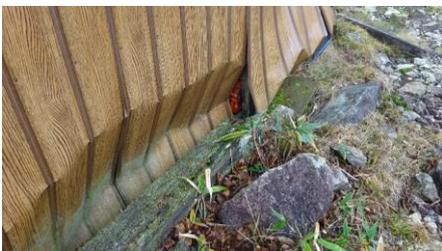
クサリを引き上げに

クサリの根元

クサリの根元は太い腕輪のようなフックが付いていて、木の根元に引っ掛けてあった。岩に巻き付けてあった工事用チェーンは3本が

外されていたが、1本はクサリに食い込んでいて外すことができなかった。雨で岩が濡れているので、先端を外しに降りることもできず、現状のまま下山した。

深仙宿の戻ると、小屋で物音がする。ドアを開けてみると一人の登山者がいた。吉野から入山し、今日は行者還小屋から歩いてきたそうだ。明日は行仙宿に泊まってゆっくりしたら？と勧めて灌頂堂に向かった。



北西の壁



柱の傾き



床の最大傾斜角度

灌頂堂は年を追うごとに傾きが激しくなっているので、実際の傾きほどの程度かを調べることにした。東西南北の角をそれぞれ計って敷居、お堂内の床を計測した。柱は思っていたより傾きは小さかったが、床は大きく傾いており、横になる方向によっては体に悪影響がありそうだ。西側の外壁鋼板が大きく潰れている。隙間から見える柱は根元が腐り、礎石から離れてしまっている。どうやら外壁鋼板が建物を支えているようだ。下手に外壁鋼板を剥がすと、お堂の

倒壊を招くかもしれない。計測を終えて千丈平に向かう。千丈平までの道は「ほんみち」の若者によって笹刈られ、木橋が撤去され巻き道が整備されていた。ただ笹刈は丁寧ではなく、刈残しや、刈った笹がそのままのところもあった。

不動木屋谷登山道の分岐を過ぎて日没近くなり、懐中電灯を出す。点灯して20秒位で消えてしまった。電池切れのようだ。暫く使っていないだったので点検不足だった。すぐに電池を交換して事なきを得た。2012年に戸津門付近で肉離れを起こし、登山口まで5時間以上を要して下山した経験から、ライトは常に3個をザックに入れ、予備の電池も2回分持っている。



千丈平で



真っ暗な登山口に下山



午後6時前、真っ暗な登山口に着いた。当然だが私の車以外の駐車車両はなかった。

帰宅してから植平さんに電話して、切れたクサリを見せていただく

ようお願いした。21日は予定がないそうなので、午後2時に伺うことにした。

行動タイム

08:45 太尾登山口 09:05 ↓ 10:37 古田の森 ↓ 11:29 千丈平 ↓ 12:05 深仙宿 ↓ 12:44 行場入口 13:07 ↓ 13:24 大日岳 13:45 ↓ 14:20 深仙宿 14:55 ↓ 15:40 千丈平 ↓ 16:29 古田の森 ↓ 17:48 太尾登山口

11月21日(木)

午後2時ちょうどに植平さんの会社に到着、さっそくクサリを見せていただく。長さは10mを少し超えている。重い、一人で太尾登山口まで運ぶのは大変だったろう。



切れたクサリの下部



先端の銘板



摩耗の激しい接続部

切れたのは残っているクサリで、繋がっていた部分は摩耗が激しく、太さの1/3ほどしか残っていない。山頂に残っているクサリも、継ぎ目のロウ付けが取れて広がっている個所があったので、全体に劣化が進んでいるようだ。



新しいチェーン

前鬼のゲートに“通行禁止”を取り付け

すでに発注して届いている新しいチェーンも見せていただいた。JIS規格のもので亜鉛メッキの上に黒い着色加工がされている。30mのものが欲しかったが、25mしかなかったというが、背負子に付けられたチェーンを持ってみると大変重くて持ち上がらない。30kgを越えているようだ。担いでしまえば立ち上がることはできるが、大日岳までの道中を安全に歩くことができるかは自信がない。切って分割し、現場で繋ごうと提案して、同意していただいた。30日に吉野で世界遺産登録20周年の記念フォーラムがあるので、その場にお集まりの各寺院にお話しさせていただこうと思う。午後3時、植平さんの会社を離れ、前鬼に向かった。平日なので、

前鬼の林道ゲートまではストレスなく走行でき、午後4時半に到着。通行禁止看板の取り付け場所を探した。ゲートのチェーンが一番目立つが、チェーンを降ろしたときに車に踏まれる。鍵の入る支柱は上に余裕がない。3mほど先に細い電柱が見えたので、その電柱に縛り付けた。少し小さいが、歩く人には見えるだろう。取り付けを終え、すぐに前鬼口へ引き返す。午後5時過ぎに前鬼口に到着してR169を北上。まだ明るいうちに国道に出られたのでホツとした。

(記・梶野)

行動タイム

14:00 植平工業 15:00→16:30 前鬼林道ゲート 16:40→17:05 前鬼口